

一般社団法人ジャパンアフリカ経済文化交流協会  
Japan Africa Economic and Culture Association (JAECA)  
趣旨説明

■JAECA 設立主旨

当法人は、日本が培ってきた教育・文化・医療・経済・技術等をアフリカ諸国の発展のために活用し、それらの交流を通してアフリカ諸国の平和と教育・経済の発展を促し、同時にそれらの達成を支える日本人の不屈なる魂—即ち信義と覚悟—の精神の復活をし、日本経済の再生を目指し、今後の日本とアフリカ諸国間の協力関係の緊密化および友好関係の増進、相互の平和的繁栄に寄与する事を目的としております。

■JAECA の理念

かつて、日本国民は素晴らしい教育と文化により、世界でも類まれな倫理道德観と高潔な精神とを持っていました。

しかし、第二次大戦後、国を挙げて経済成長へ猛進しいつの間にか世界も認める経済大国となった一方で、教育が崩壊し日本人の精神の源となる誇り高き文化・教育が失われてしまいました。さらに、近年は経済も悪化し、他国にその地位も譲らざるを得ない状況です。

我々日本国民の失敗は、物欲に走った事が原因です。その精神的代償はあまりにも大きく、もはや取り返しの出来ない所まで来てしまっております。

東日本大震災の直後は、世界が驚くほどに被災者達は互いに助け合い、まさにかつての日本人の協同と調和の精神が復活したかに見えました。しかし、月日が経つにつれ、物欲や権力に走る人々は政府・民間を問わずその勢いはとどまる事を知りません。

しかし、政府の代表を選んだのは日本国民であり、その責任に早く気が付くべきでありましょう。

JAECA はこれらの日本の歴史の中から真摯に反省し、そこから学んだ教訓を、今後のアフリカ諸国の発展のために大いに役立てて行くことを大前提としております。

では、国の発展とはどういうことでしょうか。どうすれば発展しそれを維持できるのでしょうか。

それは、我々日本人の失敗から得た教訓からも言えるように、どのような時代が来ようとも、国の発展において最も重要なことは人間教育であります。しかし、教育を行うためにはそれを支える経済が必要です。すなわち、教育と経済は両輪であるべきで、共に発展していくべきものです。経済だけが先走りしてしまえば、日本の過ちを繰り返すこととなります。しかし、物を売り経済が安定し始めると、目先が安易な物欲だけに走り出す愚かな人間が増える可能性があります。目先の欲を追い求める人間が国を占めれば

一時的には国は豊かになるかもしれませんが、長期的に安定した国家発展には繋がらないばかりでなく、国が亡びる危険性も孕んでいます。

さらに、教育、経済の発展においてそれを支える根幹となるべきものは文化です。文化の発展が経済、教育の発展へと繋がり、国家の永続的な発展と安定に繋がっていくのです。

かつて日本の国家を長きにわたって主導してきた武士が培ってきた文化は、武心文化であります。

その主な精神的要素は、ゆるぎない倫理道徳観に裏打ちされた信義・責任・団結・協同・調和でありました。これらの精神とともに、日ごろから肉体の鍛錬、武道の修練を懸命に行い、いざという時に備えていました。武士の子供達は幼いころから倫理道徳を学び、肉体を鍛え、国のために忠誠を尽くし命を懸けて働く覚悟を養っていったのです。こうして武士による国家が700年近くも維持され、さらにその後、明治維新という世界で未だ類を見ない大革命が成し遂げられる国家を作り出したのです。

従って我々は、疲弊しつつある日本も今こそ我々の原点ともいえる教育・文化に立ち返るべきと確信すると同時に、その真髄を、限りない可能性を有するアフリカ諸国へと受け継ぎ、アフリカ諸国の発展という大きな目的の為に互いに信義と責任をもって、団結調和し行動すれば、必ず大義を達成することができると信じてやみません。

今後の10年間で、日本の経済・文化・教育はさらに疲弊を続け、悩み苦しむ国民が増えるであろうことを我々は危惧しています。しかし、我々がアフリカ諸国とともに共存、共栄の精神で教育と経済の発展を図り、互いの文化を高めあうことができれば、ひいてはそれが日本再生の原動力となることを確信しております。

2012年9月5日

社団法人ジャパンアフリカ経済文化交流協会—JAECA—

理事長 風間 健